

今年の学校評価

学校では、1年間の教育活動や組織運営の状況を評価し、次年度の改善につなげる「学校評価」を行います。学校ホームページの「学校マネジメント」に、今年度の主な取組や評価基準等を掲載しましたので、お時間があるときにご覧ください。また、学校が評価を行う上で重視するのが児童・保護者・地域住民・教職員対象の「学校評価全体アンケート」です。10月後半にWeb回答を依頼しますのでご協力ください。

学校評価全体アンケート

次の文章が、10月に行う保護者の皆さんに回答いただくアンケートの内容です。このアンケート項目につながる取組を学校だよりなどで可能な限りお知らせします。

A1	・児童、友達と話し合ったり、必要な情報を集めたりしながら、じっくり考え、進んで学習に取り組んでいる。
A2	・児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。
A3	・児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。
A4	・児童は、健康や安全に気を付けて生活している。
A7	・児童は、宇都宮の良さを知っている。
A8	・児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。
A11	・学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。
A12	・教職員は、一人一人の児童を大切に、児童がともに認め励まし合う学級づくりを行っている。
A13	・教職員は、児童の悩みに寄り添い、相談に乗ったり、問題の解決に努めたりして、児童が明るくいいきと学校生活を送れるようにしている。
A14	・教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている。
A17	・学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。
A18	・学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。
A19	・学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。
B1	・児童は、時と場に応じたあいさつをしている。
B2	・児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。

4年生

上下水道局出前授業



5年生

冒険活動教室



城山地区の小中一貫教育・地域学校園

5年生の冒険活動教室は、城山地区の小学校3校と中学校が同じ期間に宿泊しました。

昼間の活動は学校ごとでしたが、2日目の夜は、4校でキャンドルファイヤーなどを行いました。



※学校ホームページ「城央小日誌」には、より多くの画像を掲載しています。

ちよつといい話

本校には、まごころサポーターという登下校の見守り、付き添いをしてくださる学校支援ボランティア組織があります。そのうちの1人の方が、毎朝、とある児童を「あいさつが上手だね。」「お辞儀の仕方が上手だね。」と、1年近くほめ続けてくださいました。きっかけは、都合で保護者の方と登校したときに、親子で一緒にきちんとあいさつをした様子を見て、その地域の方が感動したことです。

今では、その児童は、とても聞きやすい声の大きさで、目を見て「おはようございます。」、そして、とてもきれいなしぐさでおじぎををしています。そして、そのことを、担任が学級で紹介してから、大きな声であいさつをする児童が増えてきました。